2022年度　授業シラバス

科目名	ナレーション基礎	必修 選択	必修	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
いろんなMC・ナレーション実践の他、ネタ見せなど。

【到達目標】
テレビ番組、ラジオ番組、イベントなど様々な場面で司会進行できる様に対応能力をつける
また芸人として必要なスキルを学ぶ

【教員の略歴】
漫才コンビとして長年活躍し、数々の賞を受賞。現在もプロデュース業やMC業など活躍。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介、質疑応答		①	「フリ」と「こなし」	
②	MC力とは		②	ネタ見せ	
③	ネタ見せ		③	拾い上げる力	
④	大喜利MC実践		④	聞き流すテクニック	
⑤	MC力を鍛える		⑤	聞く力	
⑥	ギャップを作る		⑥	ネタ見せ	
⑦	隙間を作る		⑦	大喜利MC実践	
⑧	間抜け力を作る		⑧	ひな壇トーク実践	
⑨	油断力を作る		⑨	話をずらす	
⑩	相手の懐に入るテクニック	前期試験	⑩	自分だけのポジションを手に入れる	
⑪	フリートーク		⑪	ネタ見せ	後期試験
⑫	ネタ見せ		⑫	質疑応答	
⑬	ネタ見せ		⑬	フリートーク	
⑭	大喜利		⑭	総括	
⑮	フリートーク		⑮	1年を振り返って	

準備学習 時間外学習	毎日ひたすらお笑いの事を考え続けてください。	評価方法	試験、出席率、実践での個性、発想、瞬発力、構成力など
受講生への メッセージ	常にお笑いの事を考えネタを作り続け練習しまくって人前で披露する機会があるならどんどんやってください。目に見えて差がつきます。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	演技基礎	必修 選択	必修	年次	2	学科名	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
エンターテイナーとして必要な肉体、精神を身に付ける。
肉体の感情と心の感情をつなげる。

【到達目標】
徹底した、役者としての体づくり。役作りのプランニング方法の習得。

【教員の略歴】
俳優として活動する傍ら、全国の芸能事務所やスクール等で芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導も行い、子役からシニアまでこれまでに1000名以上の俳優を育てている。関西テーマパークでの大型ショーのアクションコーディネートや舞台。ショーなどの殺陣指導など幅広い活動を行っている。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	1年生で学んだ事の復習		①	台本を使用した演技レッスン①（ファンタジー系）	
②	身体訓練①		②	台本を使用した演技レッスン①（ファンタジー系）	
③	身体訓練①		③	台本を使用した演技レッスン①（ファンタジー系）	
④	身体訓練①		④	台本を使用した演技レッスン①（ファンタジー系）	
⑤	身体訓練②		⑤	台本を使用した演技レッスン②（シリアス系）	
⑥	身体訓練②		⑥	台本を使用した演技レッスン②（シリアス系）	
⑦	身体訓練②		⑦	台本を使用した演技レッスン②（シリアス系）	
⑧	感情開放トレーニング①		⑧	台本を使用した演技レッスン②（シリアス系）	
⑨	感情開放トレーニング①		⑨	台本を使用した演技レッスン③（コメディー系）	
⑩	前期試験	前期試験	⑩	台本を使用した演技レッスン③（コメディー系）	
⑪	感情開放トレーニング①		⑪	後期試験	後期試験
⑫	感情開放トレーニング①		⑫	台本を使用した演技レッスン③（コメディー系）	
⑬	感情開放トレーニング②		⑬	台本を使用した演技レッスン③（コメディー系）	
⑭	感情開放トレーニング②		⑭	ドラマのワンシーン（自由選択）	
⑮	感情開放トレーニング②		⑮	ドラマのワンシーン（自由選択）	

準備学習 時間外学習	視野を広げてたくさんの表情が作れるようにしましょう。	評価方法	試験・出席率・授業態度・スキルの向上度合
受講生への メッセージ	エンターテイメント業界で一緒にお仕事できる日を 楽しみにしています。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	表現基礎	必修 選択	必修	年次	2	学科名	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
演技メソッドを使って表現や発声を学ぶ。エチュードやシーンを通して演技力をつける。

【到達目標】
プロの俳優として必要な声と体の基礎を作り、演技とは何かを理解する。これからの目標を明確にする。

【教員の略歴】
俳優、演出家、演技指導、ドキュメンタリー監督。
ドキュメンタリー映画などを制作

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	一年の復習と目標設定		①	基礎トレーニング、「課題④」	
②	姿勢、ヴォイス復習、演技基礎		②	基礎トレーニング、「課題④」	
③	基礎トレーニング、「課題①」		③	基礎トレーニング、「課題④」	
④	基礎トレーニング、「課題①」		④	基礎トレーニング、「課題④」	
⑤	基礎トレーニング、「課題①」		⑤	基礎トレーニング、「課題⑤」	
⑥	基礎トレーニング、「課題②」		⑥	基礎トレーニング、「課題⑤」	
⑦	基礎トレーニング、「課題②」		⑦	基礎トレーニング、「課題⑤」	
⑧	基礎トレーニング、「課題②」		⑧	基礎トレーニング、「課題⑤」	
⑨	基礎トレーニング、「課題②」		⑨	基礎トレーニング、「課題⑤」	
⑩	ワンシーン、モノローグ	前期試験	⑩	基礎トレーニング、「課題⑤」	
⑪	前期の復習と確認やエチュードなど		⑪	「課題⑤」	後期試験
⑫	基礎トレーニング、「課題③」		⑫	後期の復習と確認やエチュードなど	
⑬	基礎トレーニング、「課題③」		⑬	自由演目で表現	
⑭	基礎トレーニング、「課題③」		⑭	自由演目で表現	
⑮	基礎トレーニング、「課題③」		⑮	復習とこれからの目標	

準備学習 時間外学習	日頃の出来事や行動を観察し気に留めておく。	評価方法	定期試験の結果、授業への取り組み態度を参考に各自がどれだけ学び努力したかを評価基準とします。
受講生への メッセージ	分からないことや、 不安なことがあればいつでも質問してください。	使用教科書 教材 参考書	配布テキスト

2022年度　授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング	必修選択	必修選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
軽い体力づくり・発声の基礎(呼吸、体全体の使い方）　/　歌唱指導(リズム、音程、滑舌、抑揚等）/ ステージパフォーマンス

【到達目標】
ヴォイストレーニングを通してヴォーカリストに必要な歌唱力・表現力を習得

【教員の略歴】
コーラスグループ「VOW」として14年間様々なステージに立つと同時にゴスペルワークショップでのディレクターとしての経歴を持つ。独立後は、関西、関東で活動し歌のワークショップのディレクターや企業のワークショップ、アイドルグループ等のボイストレーナーとしても活躍中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法		①	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法	
②	【発声】A:リップロール 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス		②	【発声】A,B,Cセットで 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス	
③	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法		③	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法	
④	【発声】A:リップロール 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス		④	【発声】A,B,Cセットで 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス&ステージング	
⑤	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法		⑤	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法	
⑥	【発声】B:ハミング 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス		⑥	【発声】D:た行、だ行、な行で発声 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス&ステージング	
⑦	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法		⑦	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法	
⑧	【発声】B:ハミング 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス		⑧	【発声】D:た行、だ行、な行で発声 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス&ステージング	
⑨	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法		⑨	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法	
⑩	【発声】C:音階を使っての母音練習 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス		⑩	【発声】D:た行、だ行、な行で発声 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス&ステージング	
⑪	前期試験	前期試験	⑪	後期試験	
⑫	前期試験の振り返り		⑫	後期試験の振り返り	
⑬	個別指導アドバイス		⑬	個別アドバイス	
⑭	個別指導アドバイス		⑭	【基礎】①ストレッチ②表情筋トレーニング③呼吸法	
⑮	前期まとめ		⑮	【発声】D:た行、だ行、な行で発声 【歌唱指導】受講者が選ぶ曲のアドバイス&ステージング	

準備学習 時間外学習	レクチャーした発声練習を日々意識する。課題曲の歌詞を覚える等。	評価方法	試験・出席率・授業態度・レッスン内容の理解度、取り組む姿勢、を総合的に評価します
受講生への メッセージ	発声の基礎(呼吸、体の使い方)を習得することで、声を出すことがより楽しいものになります。初めはわからないことが多々あるかと思いますが根気よく学んでいきましょう。	使用教科書 教材 参考書	特にありません。

2022年度　授業シラバス

科目名	パフォーマンス・ベーシック	必修選択	必修選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

おもに時代劇で演じられる剣劇シーン、いわゆる殺陣と呼ばれる、刀を使う格闘シーンにおいての必要な知識、基本、危険性などを実際に経験し演じながら学んでいただきます。お芝居の中での殺陣のあり方を考え、いろんなシュチェーションの中で安全かつ効果的に演じる方法を身につけていただきます。

【到達目標】

テレビや映画、舞台においての殺陣・現代アクションを安全且つ効果的に演じる為の基礎技術・知識・体力を身に付け殺陣や疑斗を演じる楽しさや難しさを体感し理解する。
2年次は、主に時代殺陣を中心に学ぶ。

【教員の略歴】

スタント・アクション俳優の養成学校卒業後、プロダクションに所属、スタントパフォーマーとして活動、映画にも参加、その後アクションコーディネーター・殺陣師として、主に映画撮影所などで活動しています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	殺陣とは何か・時代劇の所作・刀の知識		①	走り込みからの斬り込みと流し方及び流され方	
②	殺陣の基本となる構え方		②	走り込みからの斬り込みと流し方及び流され方　反復練習	
③	刀の振り方		③	走り込みからの斬り込みを跳ね上げる	
④	素振り、足運び		④	走り込みからの斬り込みを跳ね上げる　反復練習	
⑤	様々な斬り方		⑤	斬り込みに対して避けながら斬る（抜き胴）	
⑥	様々の斬り方の反復練習		⑥	斬り込みに対して避けながら斬る（抜き胴）　反復練習	
⑦	対人での打ち込みと受け方（正面）		⑦	斬り込みを跳ね上げて斬る（袈裟斬り）	
⑧	対人での打ち込みと受け方（正面）反復練習		⑧	斬り込みを跳ね上げて斬る（袈裟斬り）　反復練習	
⑨	対人での打ち込みと受け方（横面）		⑨	基本を組み合わせた殺陣	
⑩	対人での打ち込みと受け方（横面）反復練習		⑩	基本を組み合わせた殺陣	
⑪	対人での突き込みと受け方	前期試験	⑪	後期の復讐及び試験	後期試験
⑫	対人での突き込みと受け方　反復練習		⑫	実践的な殺陣①	
⑬	前期の復習及び試験		⑬	実践的な殺陣②	
⑭	走り込んでの打ち込み		⑭	実践的な殺陣③	
⑮	走り込んでの打ち込み　反復練習		⑮	1年間の振り返り	
準備学習時間外学習	ストレッチや柔軟運動、筋トレなどを日常的に行う。時代劇や殺陣シーンを含んだ作品を鑑賞し、時代殺陣のバックボーンを学ぶ。		評価方法	前期・後期末に試験を行い、それまで学んだことを実演していただき評価します。また、日ごろの授業に対する姿勢・態度・出席率を考慮し、授業外での日々の鍛錬も評価の対象とします。	
受講生へのメッセージ	時代劇やアクション映画で目にする剣戟シーンを演じるための、知識や技術を実際に体を動かして、安全かつ楽しみながら身に付けていきましょう。		使用教科書教材参考書	木刀（学校で準備）／浴衣・帯・サポーター（各自持っている人は持参してください）	

2022年度　授業シラバス

科目名	映像基礎	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科名	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
舞台を制作から出演まで自分たちで考えて実践する

【到達目標】
舞台制作のノウハウを習得し、自ら表現できる場所を生み出す力を育てる

【教員の略歴】
テレビドラマや舞台俳優・演出・脚本家として26年、年間100回の公演のプロデュース　劇団の代表

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	作品上演にむけて　ミーティングなど		①	キャスティング・台本を読み込む　1	
②	作品上演にむけて　稽古		②	稽古	
③	作品上演にむけて　稽古		③	稽古	
④	作品上演にむけて　稽古		④	稽古	
⑤	作品上演にむけて　稽古		⑤	リハーサル	
⑥	届かなかったラブレター		⑥	本番	
⑦	届かなかったラブレター		⑦	反省会	
⑧	12月の舞台にむけて　ミーティングなど		⑧	キャスティング・台本を読み込む　2	
⑨	12月の舞台にむけて　ミーティングなど		⑨	稽古	
⑩	長ゼリフのテスト（動きも考える）	前期試験	⑩	稽古	
⑪	12月の舞台にむけて　稽古		⑪	稽古	後期試験
⑫	12月の舞台にむけて　稽古		⑫	リハーサル	
⑬	12月の舞台にむけて　稽古		⑬	本番	
⑭	12月の舞台にむけて　稽古		⑭	反省会	
⑮	12月の舞台にむけて　稽古		⑮	1年間を振り返って	
準備学習 時間外学習	当たり前に台本を丸ごと覚える毎日を		評価方法	技術よりも、試験、出席率（体調管理もプロの仕事）、授業態度（業界は礼儀・マナーが大切なので）	
受講生への メッセージ	芝居のことばかり考えている、そんな一年にして下さい。		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2022年度　授業シラバス

科目名	メイクアップ・ベーシック	必修選択	必修選択	年次	2	学科名	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
イメージしたものを作ることができるスタイリスト

【到達目標】
ヘア基礎技術の習得

【教員の略歴】
ホテル婚礼全般 一般サロン ヘアメイク着付 アイラッシュ

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	前年度復習		①	前期復習	
②	似合わせアップ		②	七五三 アレンジ	
③	子供アレンジ		③	模写洋Ⅰ アレンジ	
④	10 20代 洋和アレンジ		④	模写洋Ⅱ アレンジ	
⑤	30 40代 洋和アレンジ		⑤	模写和Ⅰ アレンジ	
⑥	ルーズ 洋和アレンジ		⑥	模写和Ⅱ アレンジ	
⑦	ハーフアップ 洋和アレンジ		⑦	似合わせ 洋和アレンジ	
⑧	似合わせⅠ 洋アレンジ		⑧	成人式ヘアメイクⅠ	
⑨	似合わせⅡ 和アレンジ		⑨	成人式ヘアメイクⅡ	
⑩	似合わせⅢ 洋和アレンジ		⑩	成人式ヘアメイクⅡ	
⑪	試験 2スタイル	前期試験	⑪	試験 2スタイル	後期試験
⑫	試験フォロー		⑫	試験フォロー	
⑬	課題克服		⑬	卒業式ヘアメイク	
⑭	各自テーマを決めてヘアメイク		⑭	パーティー用　ヘアメイク	
⑮	各自テーマを決めてヘアメイク		⑮	まとめ	

準備学習 時間外学習	スタイルを見て展開図をイメージする	評価方法	実技試験 授業態度 出席率
受講生への メッセージ	社会人直前の年です 即戦力になれるよう時間の意識も忘れないように	使用教科書 教材 参考書	ウィック クランプ コーム ブラシセット ゴム ホットカーラー 毛たぼ 筆記具

2022年度　授業シラバス

科目名	表現演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ストレッチ、筋力トレーニングの実践、動作改善トレーニングの理論と実践
怪我の予防と回復のためのプログラム

【到達目標】
ボディトレーニングまたはボディメイクを通してダンサー・パフォーマーに必要な身体のメンテナンス・ケアを学ぶ。

【教員の略歴】
フィットネスインストラクター・パーソナルトレーナー・運動指導歴２３年

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ストレッチ基礎　①		①	ストレッチ応用　①	
②	ストレッチ基礎　②		②	ストレッチ応用　②	
③	ストレッチ基礎　③		③	筋力トレーニング応用　①	
④	ストレッチ基礎　④		④	筋力トレーニング応用　②	
⑤	筋力トレーニング基礎　①		⑤	動作改善トレーニング　応用　①	
⑥	筋力トレーニング基礎　②		⑥	動作改善トレーニング　応用　②	
⑦	筋力トレーニング基礎　③		⑦	総合トレーニング　上級　①	
⑧	筋力トレーニング基礎　④		⑧	総合トレーニング　上級　②	
⑨	動作改善トレーニング基礎　①		⑨	総合トレーニング　上級　③	
⑩	動作改善トレーニング基礎　②		⑩	総合トレーニング　上級　④	
⑪	総合トレーニング①		⑪	個別プログラム　①	
⑫	総合トレーニング②　試験	前期試験	⑫	個別プログラム　②	
⑬	総合トレーニング③		⑬	フォームチェック　試験	後期試験
⑭	フォームチェック		⑭	個別プログラム　③	
⑮	総合トレーニング④		⑮	個別プログラム　④	

準備学習 時間外学習	ストレッチを欠かさず行いましょう。	評価方法	出席・授業態度、実技試験で評価します。
受講生への メッセージ	ただ身体を鍛えるだけのクラスではなく身体に対する理解を深め、より動ける身体を作るクラスです	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
上演の為のキャスティング　～　リハーサル

【到達目標】
舞台役者としての身構え、気構え、心構えを身に着け、舞台に立てる役者を育てる。
心得を習得したうえで、We areBACを通し、即戦力となるような舞台人の育成する。

【教員の略歴】
劇作家、演出家。代表作として、滋慶学園COMグループが全国で取り組む「Hospital　of　Miracle」や「甲子園だけが高校野球ではない」「進路ミュージカル」などがある。その他、滋慶学園COMグループ教育顧問。芸能プロダクション、代表取締役も務める。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	発声・滑舌・シアターゲーム		①	We　are卒業公演の為のレッスン	
②	発声・滑舌・シアターゲーム		②	We　are卒業公演の為のレッスン	
③	発声・滑舌・シアターゲーム		③	We　are卒業公演の為のレッスン	
④	エチュード・表現力を身につける		④	We　are卒業公演の為のレッスン	
⑤	エチュード・表現力を身につける		⑤	We　are卒業公演の為のレッスン　実寸ホールサイズ	
⑥	エチュード・表現力を身につける		⑥	We　are卒業公演の為のレッスン	
⑦	台詞読み・シーン作り		⑦	We　are卒業公演の為のレッスン　場当たり	
⑧	台詞読み・シーン作り		⑧	We　are卒業公演の為のレッスン	
⑨	台詞読み・シーン作り		⑨	We　are卒業公演の為のレッスン　リハーサル	
⑩	前期試験	前期試験	⑩	We　are卒業公演の為のレッスン　リハーサル	
⑪	台詞読み・シーン作り		⑪	We　are卒業公演の為のレッスン　リハーサル	後期試験
⑫	台詞読み・シーン作り		⑫	We　are卒業公演の為のレッスン　最終リハーサル	
⑬	台詞読み・シーン作り		⑬	We　are卒業公演　本番	
⑭	台詞読み・シーン作り		⑭	反省会	
⑮	台詞読み・シーン作り		⑮	総評	
準備学習 時間外学習	お芝居をたくさん観てください。		評価方法	試験・出席率・授業態度・スキル	
受講生への メッセージ	本気の2年にしよう		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2022年度　授業シラバス

科目名	ステージ・パフォーマンス	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ストレッチ→筋トレ→授業内容に沿ったアイソレーション、リズムワーク→振付

【到達目標】
ダンス＆ヴォーカルを研究・考察しパフォーマンス力の向上。またクラスでの作品作りを行うことで協調性・コミュニケーション能力の向上
チームワーク力を養うことを目的とする。

【教員の略歴】
アーティストバックダンサー、舞台多数出演、舞台振付演出等、様々な分野で活動中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	イントロデュース（授業内容などについて説明）		①	応用①（前期内容復習）	
②	基礎①（リズムワーク）		②	応用②（ベーシック）	
③	基礎②（リズムワーク）		③	応用③（ベーシック）	
④	基礎③（アイソレーション）		④	作品振付	
⑤	基礎④（アイソレーション）		⑤	作品振付	
⑥	基礎⑤（リズムワーク、アイソレーション応用）		⑥	作品振付	
⑦	基礎⑥（リズムワーク、アイソレーション応用）		⑦	作品振付	
⑧	基礎⑦（振付）		⑧	作品振付	
⑨	基礎⑧（振付）		⑨	作品振付	
⑩	基礎⑨（振付）		⑩	作品振付	
⑪	基礎⑩（振付）		⑪	作品振付	
⑫	基礎⑪（振付）		⑫	作品振付発表	後期試験
⑬	振付テスト	前期試験	⑬	意見シェア（テストを終えて）、後期応用振付	
⑭	基礎⑫（振付）		⑭	後期応用振付	
⑮	意見シェア（テストを終えて）、前期応用振付		⑮	前期後期まとめ	

準備学習 時間外学習	一回一回の授業内容を復習し、練習すること	評価方法	出席率、前後期試験、授業を意欲的に取り組んでいるかを総合的に評価
受講生への メッセージ	何事も意欲的に取り組むことが大切です。私が経験してきたことを伝えます。自分にしかない個性を一緒に見つけていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	動きやすい服装、運動靴、タオル、飲み物

2022年度　授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ	必修選択	必修選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
・アテレコの実践　・マイクを効果的に使った表現方法　・発声滑舌
・キャラクター作り　・台本読解
・スタジオマナー

【到達目標】
・プロの声優として、現場に立つためのアテレコのスキル・心構え・現場マナーの習得。
・体と心を使い、さらに立体的な声の演技の習得。
・即戦力となる声優を目指す。

【教員の略歴】
東京：声優プロダクションで声優やマネージャーとして活動。
大阪：ボイスタレントとしてナレーション、キャラボイス、朗読、舞台などで活動中

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	アテレコ用語・マイクワークの習得		①	アテレコ③・実習	
②	アテレコ①・キャスティングオーディション		②	アテレコ・③REC	
③	アテレコ①・読み合わせ		③	アテレコ・③REC	
④	アテレコ①・実習		④	アテレコ③(キャスト変更)・実習	
⑤	アテレコ①・REC		⑤	アテレコ・③REC	
⑥	アテレコ①・REC		⑥	アテレコ・③REC	
⑦	アテレコ②・キャスティングオーディション		⑦	アテレコ④・キャスト発表	
⑧	アテレコ②・実習		⑧	アテレコ④・実習	
⑨	アテレコ②・REC		⑨	アテレコ④・実習	
⑩	前期試験	前期試験	⑩	アテレコ④・実習	
⑪	アテレコ③・キャスティングオーディション		⑪	後期試験	後期試験
⑫	アテレコ③・キャスティングオーディション		⑫	アテレコ④・実習	
⑬	アテレコ③・読み合わせ		⑬	アテレコ④・REC	
⑭	アテレコ③・実習		⑭	アテレコ④・REC	
⑮	アテレコ③・実習		⑮	アテレコ総括	

準備学習 時間外学習	アクセント・滑舌練習は言うまでもなく、物語・キャラクターの解釈をしたうえで、演じるキャラクターが「なぜ」その言葉を発するのか考える。 一度ダメ出しされた事を繰り返さない。考えてきた事を、形にできるように復習してくる事。ボイスレコーダーで録音し、自分の演技を客観的に聞く。	評価方法	学期ごとの試験 各個人の毎回の演技内容(予習・復習)、態度 タレント、社会人として現場レベルに相当するかを含め評価する。 テストはオンエアされている作品レベルを基準とする。 それでに対しどのレベルまで達成できているかで採点する。
受講生へのメッセージ	長所をプロで通じるレベルの武器に。 足りていない部分は、どう満たしていくのか。 ヒントは毎回のレッスンにあります。 自分で工夫して、考えて、行動して、結果を実感していきましょう。	使用教科書 教材 参考書	・アテレコ台本(授業時に配布)　・アクセント辞典 『実習』日…マイクを3本使用 『REC』日は下記録音機材を使用 （R44、SDカード、マイク3本、マイクケーブル3本、標準ピン2本） 記載のない日は機材の準備の必要なし

2022年度　授業シラバス

科目名	ヴォーカル・レッスン	必修選択	必修選択	年次	2	学科名	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

グローバルスタンダードとしての発声に関する基礎知識の学び。また声を成長させるトレーニングの実践方法の習得。（邦楽・洋楽両方の）歌唱力習得のためのトレーニング方法の実践。発声・歌唱における姿勢・呼吸体の使い方の実践と習得。学習し成長するための意識の改革

【到達目標】

生徒個々に声の性質と、現時点での音域を理解し、次へのレベルに向けて必要な課題曲・音域をあげる。邦楽・洋楽ともに歌える技術の習得。基礎的なハーモニーの作成世界で評価が高い曲を選曲し、歌えるように導く

【教員の略歴】

ゴスペルグループのsinger として活動し、k-popアーティスト、やミュージカル俳優を指導。様々なアーティストなど業界の方との共演

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ゴスペルにおいての発声の基礎知識についての紹介		①	音域の確認課題曲を通して確認	
②	姿勢・呼吸のトレーニング		②	音域の確認課題曲を通して確認	
③	姿勢・呼吸のトレーニング		③	音域の確認課題曲を通して確認	
④	姿勢・呼吸のトレーニング		④	音域の確認課題曲を通して確認	
⑤	姿勢・呼吸のトレーニング		⑤	音域の確認課題曲を通して確認	
⑥	声帯のトレーニング方法の紹介、低音		⑥	課題曲の発表会（リフレクション）実践できた事、できなかった事、明確にして次の課題曲に進む	
⑦	声帯のトレーニング方法の紹介、低音		⑦	課題曲の発表会（リフレクション）実践できた事、できなかった事、明確にして次の課題曲に進む	
⑧	声帯のトレーニング方法の紹介、高音		⑧	課題曲を通して発音・発声習得の確認	
⑨	声帯のトレーニング方法の紹介、高音		⑨	課題曲を通して発音・発声習得の確認	
⑩	基礎知識のまとめ	前期試験	⑩	課題曲を通して発音・発声習得の確認	
⑪	発声の基礎知識の実践習得の確認発音		⑪	課題曲を通して発音・発声習得の確認	後期試験
⑫	発声の基礎知識の実践習得の確認発音		⑫	課題曲の発表会（リフレクション）実践できた事、できなかった事、明確にして次の課題曲に進む	
⑬	発音・発声習得の確認		⑬	課題曲の発表会（リフレクション）実践できた事、できなかった事、明確にして次の課題曲に進む	
⑭	発音・発声習得の確認		⑭	自由課題として曲選びから実践	
⑮	発音・発声習得の確認		⑮	発表会（リフレクション）実践できた事、できなかった事	

準備学習 時間外学習	毎日発声練習をしてください。	評価方法	試験・出席率・授業態度
受講生への メッセージ	しっかりトレーニングし音域を上げれるように一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	作詞＆作曲・編曲	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科名	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
オリジナル制作に向けてのコンセプト、イメージをきちんと決め楽曲制作として形に起こしていく

【到達目標】
コンピュータミュージックを学ぶことによりPC操作能力の向上や作曲・アレンジ力を磨く

【教員の略歴】
専門学校にてコンピューターミュージックを選択し作曲を学ぶ。卒業後作曲家としてデビュー

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	一年の復習		①	オーディオミックスの方法	
②	楽器を知る		②	オーディオミックスの方法	
③	アレンジについて		③	エフェクターの説明	
④	オリジナルを作るにあたって		④	エフェクターの説明	
⑤	大テーマ決め		⑤	楽曲を使ってミックスの説明	
⑥	小テーマを箇条書き		⑥	楽曲を使ってミックスの説明	
⑦	ジャンル決め		⑦	伴奏を作る	
⑧	ターゲット決め		⑧	メロディーを作る	
⑨	キーワードを連想		⑨	ハーモニーを作る	
⑩	5W1Hを決める	前期試験	⑩	リズムを作る	
⑪	主人公の詳細設定		⑪	オリジナル楽曲　制作	後期試験
⑫	パートごとに書いていく		⑫	オリジナル楽曲　制作	
⑬	言葉の技法（韻を踏む・倒置法を使う）		⑬	オリジナル楽曲　発表	
⑭	言葉の技法（比喩・反復）		⑭	総評	
⑮	課題曲提出		⑮	二年間の復習	

準備学習 時間外学習	音楽に対する関心、興味、探求心をもつ。 音楽を深く掘り下げて聴く習慣をつける。	評価方法	試験、授業で学んだことへの努力、または姿勢
受講生への メッセージ	今年は自分のオリジナル楽曲をなるべく自分の力で、形にできるよう頑張りましょう。そのためにも、楽曲のアレンジイメージ、背景をきちんと描いて自分の世界表現できるよう、日々音楽をしっかり聴いて分析し実践して取り組んでください。	使用教科書 教材 参考書	Windowsノートパソコン、ヘッドフォン、DTMセット

2022年度　授業シラバス

科目名	メイク＆スタイリング	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科名	タレント科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
基礎を基盤とした応用メイク

【到達目標】
思いやり・気遣いの精神を育み、人間力を高め、現場対応能力の向上を目指す。

【教員の略歴】
LIVE・映画・TV・CM・イベント・舞台などのヘアメイクを担当

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	テーマメイク　エレガント		①	ヘアー	
②	テーマメイク　モード		②	ブライダルヘアメイク	
③	テーマメイク　クリエイティブ		③	ブライダルヘアメイク	
④	トレンドリサーチ＆コラージュ		④	トレンドリサーチ＆コラージュ	
⑤	トレンドヘアメイク		⑤	トレンドヘアメイク	
⑥	ヘアー		⑥	似合わせメイク	
⑦	撮影ワーク　案だし		⑦	ネイル	
⑧	撮影ワーク　仕込み		⑧	撮影ワーク　案だし	
⑨	撮影ワーク　仕込み		⑨	撮影ワーク　仕込み	
⑩	撮影ワーク　フォトコン	前期試験	⑩	撮影ワーク　仕込み	
⑪	似合わせメイク		⑪	撮影ワーク　広告撮影	後期試験
⑫	似合わせメイク		⑫	テーマメイク　自由	
⑬	ネイル		⑬	テーマメイク　自由	
⑭	ネイル		⑭	テーマメイク　自由	
⑮	ネイル		⑮	総評	
準備学習 時間外学習	長期休暇は自宅で自主練習		評価方法	試験・出席率 自分の個性を出せているか、作品のバランスはきれいか 手の動きやタッチの仕方などの手技 技術者モデル共に楽しめる雰囲気を作れているか　など	
受講生への メッセージ	2年生になって実技が格段に増えます 一つ一つの授業をしっかり聞いて 忘れないように復習しっかりしてください		使用教科書 教材 参考書	ヘアメイク教材一式 個人で必要ならば別道具準備 ネイルの授業のみ　ネイルチップ	

2022年度　授業シラバス

科目名	アクティング演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	180 （12単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
面白い表現力をつけていく。特に、顔の表情や動きを実戦で試しながら自分のものにしていく。

【到達目標】
演技力・表現力を身に付ける

【教員の略歴】
舞台俳優・演出・脚本家として26年、公演のプロデュース年間100以上、劇団の代表

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	連想ゲーム		①	すべらない話　1	
②	基礎表現　1		②	すべらない話　2	
③	基礎表現　2		③	ショートストリー　去年ルノアールで	
④	基礎表現　3		④	ショートストリー　去年ルノアールで	
⑤	シチュエーション表現　1		⑤	ショートストリー　去年ルノアールで	
⑥	シチュエーション表現　2		⑥	番組体験・ヘキサゴンクイズ	
⑦	シチュエーション表現　3		⑦	ドラマのワンシーン　3	
⑧	台詞体験　1		⑧	ドラマのワンシーン　4	
⑨	台詞体験　2		⑨	すべらない話　3	
⑩	台詞体験　3		⑩	すべらない話　4	
⑪	自己PR・特技披露		⑪	ネタみせ・自己PR	
⑫	ドラマのワンシーン　1		⑫	喜劇体験	後期試験
⑬	ドラマのワンシーン　2	前期試験	⑬	喜劇体験	
⑭	ドラマのワンシーン　3		⑭	おおげさ大喜利	
⑮	ネタみせ・自己PR		⑮	おおげさ大喜利	
準備学習 時間外学習	日常から面白い表情や動きを意識して欲しい		評価方法	試験・出席率・授業態度（礼儀・マナー）	
受講生への メッセージ	誰にも負けない表現力をつけて欲しいです!		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2022年度　授業シラバス

科目名	ダンスパフォーマンス演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	180 （12単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ダンスに必要な基礎トレーニング、筋トレによる身体作りを重点に、身体の使い方、構成、振り付けへの発想能力を高める。
基礎はしっかりと取り入れた個性を活かした自由な発想を生み出す学習。

【到達目標】
Style Hiphopを理解・習得し、基礎力・体力の向上
ダンサーとしての可能性を広げる。

【教員の略歴】
多数々のバックダンサーを務める

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	目標設定/夢願望/自己紹介/基礎トレーニング		①	後期目標設定/振り付け	
②	基礎の応用		②	振り付け&構成	
③	ベーシックな技/アイソレーション応用		③	ベーシック応用/振り付け	
④	ベーシック応用		④	振り付け&構成	
⑤	ベーシック応用2		⑤	アイソレーション応用/振り付け	
⑥	振り付け		⑥	振り付け＆構成	
⑦	構成/振り付け		⑦	ペアダンス・ペアダンス振り付け	
⑧	ベーシック応用3		⑧	ペアダンス振り付け構成	
⑨	ベーシック/アイソレーション応用/課題曲提示		⑨	後期試験に向けての振り付け	
⑩	自由制作		⑩	後期試験に向けての振り付け	
⑪	ミニ発表会		⑪	テスト/パフォーマンス表現力	後期試験
⑫	前期試験に向けての振り付け		⑫	インスタ/SNS等の配信講座	
⑬	前期試験に向けての振り付け		⑬	自由制作	
⑭	テスト/基礎能力/課題振り付け/	前期試験	⑭	自由制作	
⑮	試験結果/評価提示/ベーシック応用		⑮	ミニ発表会	

準備学習 時間外学習	1日のうち30分ダンスに集中。 基礎のUP/DOWN・アイソレ-ション重点的に レッスンではこだわれなかった形、音に対してのこだわりを考える。	評価方法	試験、レッスンの時の集中力、出席日数、ダンスパフォーマンス。 与えられた課題への追求等。
受講生への メッセージ	遊びもバイトも大事なことやけどここに入ったからには最後まで ダンスが自分にっとて一番楽しめる環境にしてください！ 周りに流されず自分の伝えたい思いを世の中に届く様に！	使用教科書 教材 参考書	タオル、踊りやすい靴、踊りやすい服装。 こだわりをもって。

2022年度　授業シラバス

科目名	DJ＆アナウンス演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	180 （12単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
基礎の復習をしながら、ラジオ、テレビにおけるアナウンス技術を学ぶ。原稿読みだけでなくリポート演習も織り込み、「伝わる」アナウンスの基本をマスターする。

【到達目標】
アナウンスの基礎を学び、TV・ラジオにおけるアナウンス技術を身につける。
また、応用として、実況(リポート)の技術を身に付ける。

【教員の略歴】
MCタレント歴24年。主に、関西・中国地方のTV、ラジオで、パーソナリティー、リポーター、キャスターなどを経験。イベント・式典、婚礼司会にも携わる。
現在、ラジオ関西にて、ニュースデスク＆アナウンサー業務に就く。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション（美しいアナウンスのために必要なこと）		①	リポート演習①	
②	呼吸法・発声練習・母音の発声		②	リポート演習②	
③	子音の発声（カ行・サ行・タ行・ダ行）応用原稿読み		③	リポート演習③	
④	子音の発声（ナ行・ハ行・マ行・ヤ行・ラ行）応用原稿読み		④	リポート演習④	
⑤	お知らせ原稿読み①		⑤	ニュース原稿読み①	
⑥	お知らせ原稿読み②		⑥	ニュース原稿読み②	
⑦	お知らせ原稿読み③		⑦	ニュース原稿読み③	
⑧	情報処理能力基礎（新聞の読み方①）		⑧	ニュース原稿読み④	
⑨	情報処理能力基礎（新聞の読み方②）		⑨	ニュース原稿読み⑤	
⑩	原稿読み①		⑩	ニュース原稿読み⑥	
⑪	原稿読み②		⑪	ニュース原稿読み⑦	
⑫	前期試験（実技）	前期試験	⑫	後期試験（実技）	後期試験
⑬	原稿読み③		⑬	リポート演習（復習）	
⑭	原稿読み（復習）		⑭	リポート演習（復習）	
⑮	前期まとめ（苦手分野の克服）		⑮	リポート演習（復習）	

準備学習 時間外学習	日頃から発声練習を欠かさないこと。常に世の中のことに興味を持ち、プロ意識を磨く。また、日頃から目についた文字（広告や看板など）を声に出して読むなど、アナウンス技術を向上する意識を持つこと。	評価方法	実技試験・出席率・授業態度を総合的に評価する
受講生への メッセージ	ひとりひとりの良いところを伸ばし、苦手なところは時間をかけて克服していきましょう。安心してついてきてください。	使用教科書 教材 参考書	アクセント辞典・ストップウォッチ

2022年度　授業シラバス

科目名	お笑い芸人演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	180 （12単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
漫才の作り方や演じ方、プロの漫才の見方を学び、自分らしいネタ作り、ネタ見せを重ねる。
興味のあること、知りたいことを質疑応答によって深める。
年末に、お笑いスタッフコースの生徒が書いた漫才台本に挑戦！

【到達目標】
賞レースで勝てるネタ作りができるようになる

【教員の略歴】
お笑い番組をはじめ、報道、通販などのテレビ番組の企画・構成を担当している放送作家。
また、漫才作家として、ネタ台本の提供や、芸人のネタ作りのサポート、お笑いライブの構成なども。
数々の漫才コンテストなどの賞レースや、オーディションライブの審査員も。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	質疑応答 ～興味のあること、知りたいこと～		①	漫才鑑賞	
②	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し		②	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し	
③	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し		③	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し	
④	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し		④	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し	
⑤	漫才鑑賞		⑤	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し	
⑥	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し		⑥	漫才鑑賞	
⑦	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し		⑦	創作台本にて、ネタ合わせ・台本改訂	
⑧	漫才鑑賞		⑧	創作台本にて、漫才披露	
⑨	前期試験に向けて		⑨	漫才鑑賞	
⑩	前期試験	前期試験	⑩	前期試験に向けて	
⑪	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し		⑪	後期試験	後期試験
⑫	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し		⑫	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し	
⑬	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し		⑬	質疑応答／ネタ見せ・ダメ出し	
⑭	漫才鑑賞		⑭	漫才鑑賞	
⑮	前期のまとめ		⑮	後期のまとめ	

準備学習 時間外学習	テレビや劇場で沢山ネタを見ること。 （ユーチューブに頼らない）	評価方法	試験、出席率、授業態度、試験時のネタ見せにて評価
受講生への メッセージ	質問や、ネタの感想など、積極的に発言すること。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	ミュージシャン演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	180 （12単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ボーカルパフォーマンスのひとつとしてギターの弾き語りを習得する。

【到達目標】
A：ギターの特性や音色を基礎から学び、音楽理論との繋がり、演奏能力を高めることにより見せ方やアーティストとしての可能性を広げる。
B：音楽理論との繋がりを具体的に捉え、オリジナル曲作りにも役立てる。演奏能力を高めることにより見せ方やアーティストとしての可能性を広げる。

【教員の略歴】
シンガーソングライターとしてライブやイベントに出演。またラジオ番組のDJなども務める。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	チューニング、クラス内でのレベルチェック		①	自作曲の制作① 伴奏・メロディー・コード	
②	シンプルな反復、メジャースケール実演		②	自作曲の制作②　ハーモニー・リズム	
③	ダイアトニックコードの音楽理論の説明		③	自作曲のアレンジ①　オーケストラアレンジ	
④	実践例と実演		④	自作曲のアレンジ②　バンドアレンジ	
⑤	例題曲の分析と実演①		⑤	自作曲のアレンジ③　SE	
⑥	例題曲の分析と実演②		⑥	実演熟練①	
⑦	アレンジの研究、応用①		⑦	実演熟練②	
⑧	アレンジの研究、応用②		⑧	課題曲の熟練度チェック①	
⑨	アレンジの研究、応用③		⑨	課題曲の熟練度チェック②	
⑩	レベルに応じた課題のチェック、課題曲選定	前期試験	⑩	技術チェック	
⑪	課題曲の熟練度チェック①		⑪	レベルに応じた課題のチェック	後期試験
⑫	課題曲の熟練度チェック②		⑫	教室内発表ライブ　リハーサル	
⑬	課題曲の熟練度チェック③		⑬	教室内発表ライブ　本番	
⑭	前期まとめ		⑭	教室内発表ライブ　総評	
⑮	総評		⑮	2年間のまとめ	
準備学習 時間外学習	1日5分だけでもギターに触れる。		評価方法	試験、 パフォーマンス努力しているか、実力をつけているか、 出席しているか、により採点	
受講生への メッセージ	向き不向き関係無く 努力した分実る事を体験してほしいと思います。		使用教科書 教材 参考書	特に無し	

2022年度　授業シラバス

科目名	メイク＆スタイリスト演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	180 （12単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
最低限のファッション知識を身につける事で仕事の幅が広がり、また楽しくファッションを学ぶ＝感性を磨くことにも繋がるという観点でファッション基礎知識を学習する。

【到達目標】
アパレル業界とファッションへの造形を深める。
ファッションを通じて自身と向き合い、人間として業界人として成長を促す。

【教員の略歴】
映画の衣装担当・ブランドディレクション
様々なファッションショーにも参加しスタイリングを担当。シーズンごとに発表するブックのスタイリングを担当。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	導入、ファッション用語　・　採寸、素材		①	スカーフ、小物スタイリング・パジャマソーイング	
②	トレンドリサーチ　街のトレンド　・　洋服解体（古着用意）		②	スタイリング実践・パジャマソーイング	
③	トレンドリサーチ　スクラップ　・　バッグ製作		③	スタイリング実践・パジャマソーイング	
④	トレンドリサーチ　プレゼン　・　バッグ製作		④	イベントポスター企画・パジャマソーイング	
⑤	カラー知識、小テスト　・　刺繍、装飾		⑤	イベントポスター企画・パジャマソーイング	
⑥	キャラクター診断（カラー応用）　・　刺繍、装飾		⑥	イベントポスター準備・パジャマソーイング	
⑦	服飾100年史、パジャマの歴史　・　パジャマデザイン		⑦	イベントポスター準備・パジャマソーイング	
⑧	服飾100年史、最新トレンド　・　ズボン裁断		⑧	イベントポスター撮影・パジャマソーイング	
⑨	スタイリング提案　・　ズボンソーイング		⑨	ファッションアイコンスタイリング・リメイク	
⑩	スタイリング提案　・　ズボンソーイング		⑩	ファッションアイコンスタイリング　プレゼン・リメイク	
⑪	復習テスト・　ズボンソーイング	前期試験	⑪	復習テスト	後期試験
⑫	ジャポニズムファッション　・　ズボンソーイング		⑫	サスティナブルファッション	
⑬	ジャポニズムファッション　・　ズボンソーイング		⑬	ファッション映画鑑賞	
⑭	ファッション映画鑑賞　・　パジャマ裁断		⑭	ファッション映画鑑賞	
⑮	ファッション映画鑑賞　・　パジャマ裁断		⑮	総評	

準備学習 時間外学習	各スタイリングの衣装準備とバッグ パジャマ製作等で使う生地選び	評価方法	テストやプレゼン作品の出来、授業意欲
受講生への メッセージ	知っていて損のないファッション知識を学びながら、 ファッションの楽しさ、魅力を みなさんにお伝えできる授業を行っていきます！	使用教科書 教材 参考書	適宜用意

2022年度　授業シラバス

科目名	オーディション対策講座	必修 選択	必修	年次	2	学科	タレント科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

毎回テーマを決め、そのテーマに沿って実習　⇒　講師からのフィードバック　を繰り返すことで、オーディションを受けるということを体で覚えていく。
テーマは、1つ前の授業の最後に発表し、宿題として、次回までに準備をしてくる。
所属のためのオーディションばかりでなく、キャスティングのオーディションにも対応する。

【到達目標】

1.自分を知る…自分自身に興味を持ち、相手に自分をわかりやすく伝える。　2.業界を知る…現状を知り、将来について考える。
3.仕事内容を知る…様々なジャンルの仕事を知り、どの分野で仕事をしたいのかを探る。　4.オーディションを知る…様々な形式を知り、どのように臨むのかを知る。

【教員の略歴】

ナレーター　ＭＣ　スポーツ実況　テレビ・ラジオの番組キャスター　リポーターを経験。最近ではNHKの朝ドラにも出演。
車内アナウンスの声も担当している。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション(この授業の意義について)		①	学内オーディション対策④	
②	オーディション実習とフィードバック①		②	学内オーディション対策⑤	
③	オーディション実習とフィードバック②		③	学内オーディション対策⑥	
④	オーディション実習とフィードバック③		④	オーディション実習とフィードバック⑥	
⑤	オーディション実習とフィードバック④		⑤	オーディション実習とフィードバック⑦	
⑥	オーディション実習とフィードバック⑤		⑥	オーディション実習とフィードバック⑧	
⑦	模擬オーディション①		⑦	オーディション実習とフィードバック⑨	
⑧	模擬オーディション②		⑧	オーディション実習とフィードバック⑩	
⑨	模擬オーディション③		⑨	学内オーディション　リハーサル	
⑩	模擬オーディションのフィードバック①	前期試験	⑩	学内オーディション　本番	
⑪	模擬オーディションのフィードバック②		⑪	フィードバック	後期試験
⑫	模擬オーディションのフィードバック③		⑫	フィードバック	
⑬	学内オーディション対策①		⑬	東京合同オーディション	
⑭	学内オーディション対策②		⑭	フィードバック	
⑮	学内オーディション対策③		⑮	フィードバック	
準備学習 時間外学習	授業の最後に、翌週に向けての宿題を発表します。		評価方法	成績は、試験・授業態度(受講態度・取組姿勢)で評価します。	
受講生への メッセージ	堅苦しい授業ではありません。 わからないことはわからないと言ってほしいですし、 楽しく授業を進めていきたいと考えています。		使用教科書 教材 参考書	毎回の講義に合わせて、必要な場合はプリントを配布します。	

2022年度　授業シラバス

科目名	イベント制作	必修 選択	必修	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
「LIVEとは何か」を、自分の力で学びます。

【到達目標】
ライブの企画・運営・出演を通して、企画制作力・行動力・コミュニケーション能力強化を図ることを目的とする。

【教員の略歴】
シンガーソングライター
活動当初よりテーマソングやイメージソング、映画音楽、舞台演劇の劇中歌など数々の楽曲制作・歌唱演奏を担当。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自分にとってLIVEとは何か？を考えます。自己紹介がてらに1人ずつ歌ってもらいます。そのために必要な音源か楽器などを持参してください。		①	次回ライブに向けてセットリストを組み、模擬ライブをしていきます。	
②	（1回目の続き）自己紹介がてらに1人ずつ歌ってもらいます。 そのために必要な音源か楽器などを持参してください。		②	20分～30分のLIVEができるように進めていきます。	
③	LIVEをするまでの流れを学びます。出演するにあたり必要なものを準備していきます。		③	10月頃、学内にて「LIVEonLIVE vol.22」開催（2日に渡り開催）	
④	セット図、セットリストの書き方を学びます。1組ずつ模擬LIVEをします。		④	「LIVEonLIVE vol.22」開催後、1組ずつの反省会をします。さらにどう売り込んでいけば良いかなどを考えていきます。	
⑤	リハーサルとは何か？LIVEと音響の深い関わりついて学びます。1組ずつ模擬LIVEをします。		⑤	「LIVEonLIVE vol.22」開催後、1組ずつの反省会をします。さらにどう売り込んでいけば良いかなどを考えていきます。	
⑥	6月頃、学内にて「LIVEonLIVE vol.20」開催。だいたい、5～10分のステージをしてもらいます。		⑥	反省を踏まえ、1組ずつ模擬LIVEをします。	
⑦	「LIVEonLIVE vol.20」開催後、1組ずつ反省会をします。		⑦	反省を踏まえ、1組ずつ模擬LIVEをします。次回のライブに向け、宣伝活動もしていきます。	
⑧	次回ライブ「LIVEonLIVE vol.21」に向けて準備にかかります。		⑧	次回LIVEのセットリストを組み、より良いライブができるよう進めていきます。セットリスト通り、1組ずつ模擬LIVEをします。	
⑨	自分をプロモーションすることを学びます。1組ずつ模擬LIVEをします。		⑨	セットリスト通り、1組ずつ模擬LIVEをします。	
⑩	SNSの大切さ、怖さ、使い方などを学びます。1組ずつ模擬LIVEをします。		⑩	12月頃、学外のライブハウスで「LIVEonLIVE vol.23」を開催2会場に分かれて、何日かに渡りLIVEします。	
⑪	LIVEをしてお金を稼ぐためには…？？1組ずつ模擬LIVEをします。		⑪	「LIVEonLIVE vol.23」開催後、1組ずつしっかり反省をしていきます。今後の音楽活動の方向性なども話します。	後期試験
⑫	8月頃、学内にて「LIVEonLIVE vol.21」を開催（2日に渡り開催）本番に向けてのモチベーション作りなど大いに学んでくださいい。		⑫	「LIVEonLIVE vol.23」開催後、1組ずつしっかり反省をしていきます。今後の音楽活動の方向性なども話します。	
⑬	「LIVEonLIVE vol.21」開催後、1組ずつ反省会をします。これからのプロモーション内容など細かく話します。	前期試験	⑬	自分のアーティスト像を確立させるLIVEステージをしていきます。1組ずつ模擬LIVEをします。LIVEをするための準備も含めます。	
⑭	「LIVEonLIVE vol.21」開催後、1組ずつ反省会をします。これからのプロモーション内容など細かく話します。		⑭	自分のアーティスト像を確立させるLIVEステージをしていきます。1組ずつ模擬LIVEをします。	
⑮	反省を踏まえ、より良いアーティストになるよう考え行動していきます。1組ずつの模擬LIVEを続けていきます。		⑮	自分のアーティスト像を確立させるLIVEステージをしていきます。1組ずつ模擬LIVEをします。	

準備学習 時間外学習	主には授業の復習や反省、次はどうするかの予習をしてください。 オリジナル曲は積極的に作り続けてください。	評価方法	試験、一回一回の授業、日々の生活態度も含め、プロとしての自覚がどれだけあるかなどを踏まえ、実際にLIVEを通して評価します。ステージ内容はもちろん、自分をどれだけプロモーション出来るか、人間性はどうか、取り組み方はどうか、などを評価します。
受講生への メッセージ	シラバスは前後することが大いにあります。授業外でも連絡を取り進めることが多くあります。メールのチェックを毎日し、確認後は返信を、提出物は必ず期限内に出してください。そして、心身ともに健康管理をしっかり頼みます。	使用教科書 教材 参考書	音響を使います。機材室からマイクやケーブルetcの用意が必要です。いつでも歌えるレパートリーやそのために必要な音源や楽器をそれぞれで準備してください。

2022年度　授業シラバス

科目名	卒業制作	必修 選択	必修	年次	2	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 （8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
イベントの制作から出演までを自分達で考え、出来るまで。

【到達目標】
イベント・ライブを通じて、人前に立つ度胸を身に着け、アピールの仕方を学ぶ。
また動員の大切さを学ぶ。

【教員の略歴】
舞台俳優・演出・脚本家　劇団代表　YouTuber

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介・グループ分け		①	前期振返り	
②	作品上演の舞台にむけて　企画会議		②	卒業制作のイベントにむけて　企画会議	
③	作品上演舞台にむけて　キャスティング		③	卒業制作のイベントにむけて　キャスティング	
④	作品上演舞台にむけて　レッスン		④	卒業制作のイベントにむけて　レッスン	
⑤	作品上演舞台にむけて　リハーサル		⑤	卒業制作のイベントにむけて　レッスン	
⑥	作品上演舞台にむけて　本番		⑥	卒業制作のイベントにむけて　レッスン	
⑦	反省会・次のイベントにむけて		⑦	卒業制作のイベントにむけて　レッスン	
⑧	イベント制作のチーム分け		⑧	卒業制作のイベントにむけて　レッスン	
⑨	イベント制作の企画		⑨	卒業制作のイベントにむけて　レッスン	
⑩	イベントのキャスティング		⑩	卒業制作のイベントにむけて　レッスン	
⑪	前期試験		⑪	後期試験	
⑫	イベント公演にむけてのレッスン		⑫	卒業制作のイベントにむけて　レッスン	
⑬	イベント公演にむけてのレッスン		⑬	卒業制作のイベントにむけて　リハーサル	
⑭	イベントリハーサル		⑭	卒業制作のイベント　本番	
⑮	イベント本番		⑮	1年間のまとめ	

準備学習 時間外学習	常に何が面白いかを意識する、練習に手を抜かない	評価方法	主に試験、出席率、授業態度（礼儀・マナー）
受講生への メッセージ	自分を信じて追求し、実戦で試してほしいです	使用教科書 教材 参考書	特になし